



各 位

2024年5月14日

会 社 名 日 本 電 子 材 料 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 坂 田 輝 久
(コード番号 6855 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 部 門 統 括 部 長 石 本 浩 久
電 話 0 6 (6 4 8 2) 2 0 0 7

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2024年度から2026年度の3ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画（2024－2026年度）の概要

当社グループは、半導体市場の更なる拡大を見込むなか、顧客ニーズに応えるプローブカードの開発と供給を社会的使命として、拡大する市場環境を支え、市場以上の成長を目指す2024年度－2026年度の中期経営計画を策定いたしました。

当社グループは、本中期経営計画の達成に向けて、積極的な設備投資・開発投資により製品力と生産キャパシティの強化を図るとともに、DX投資、人的投資、サステナビリティへの取り組みを推進し、更なる発展を目指します。

詳細につきましては、添付資料「2024－2026年度JEMグループ中期経営計画」をご参照ください。

2. 経営指標と2026年度目標

【経営指標】

- ・連結経常利益率 10%以上
- ・株主資本利益率（ROE）10%以上

【2026年度目標】

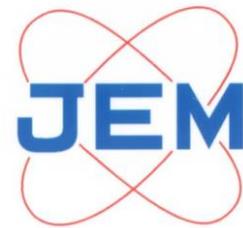
- ・連結売上高 30,000百万円
- ・連結経常利益 5,000百万円

注）本資料に記載されている内容は発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとする情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる場合があるほか、予想自体についても今後変更することがあります。

以 上

2024年5月14日

2024-2026年度 JEMグループ中期経営計画



日本電子材料株式会社

中期経営計画の策定にあたり

経営理念／経営方針

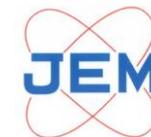
連結売上高／経常利益の推移と目標

経営指標と2026年度目標

投資計画／株主還元(配当方針)

成長に向けた取り組み

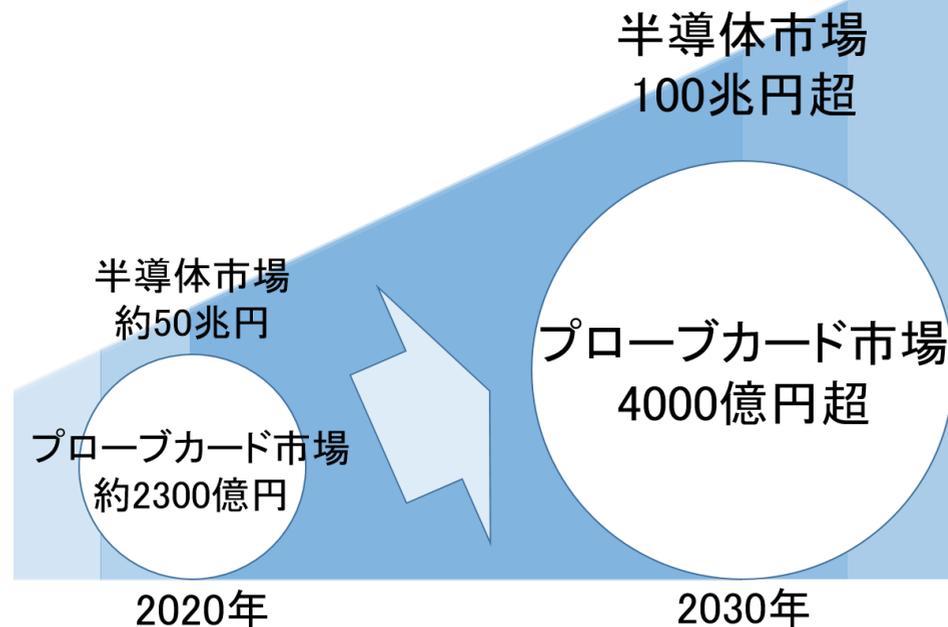
中期経営計画の策定にあたり



JEMグループは、1970年に日本で初めて半導体検査用部品「プローブカード」の製造販売を開始し、半導体産業の発展とともに歩んでまいりました。

半導体は、社会を取り巻くあらゆる製品に搭載され、近年は社会インフラを支えるIT基盤の中核技術、また、省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として重要性は高まっております。半導体市場は、今後も拡大する見通しです。

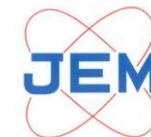
半導体市場・プローブカード市場の成長見通し



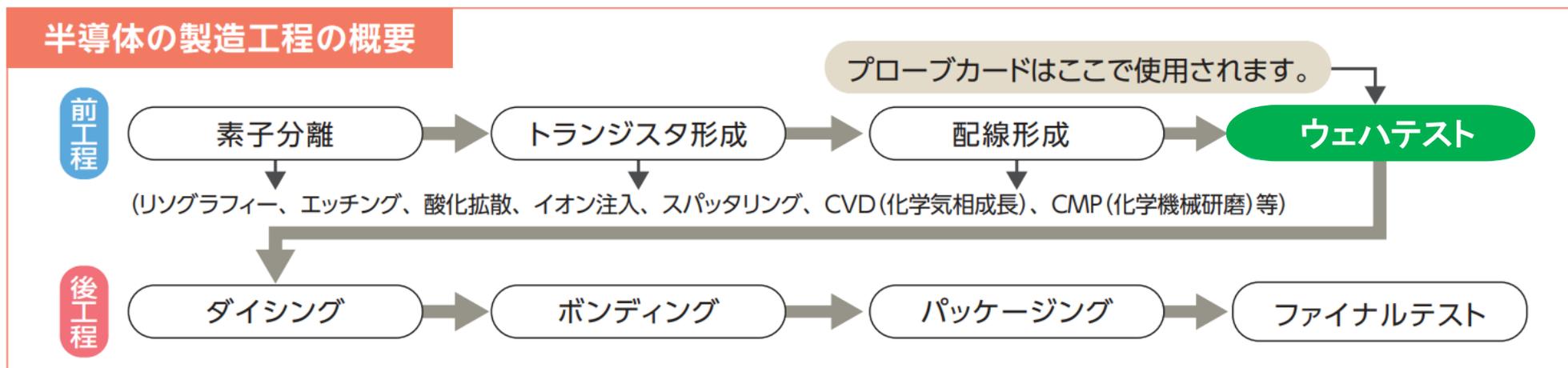
出所：2020年市場はTechInsights Inc.データにもとづき記載。
2030年市場予測はTechInsights Inc.の2028年までの予測と、当該予測からの2029-2030年の当社予測にもとづき記載。
なお、2030年市場予測は、USドルを日本円に換算しているため、為替相場の変動により増減する場合があります。

Your Probing Partner

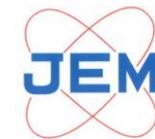
中期経営計画の策定にあたり



プローブカードは、半導体製造のウェハテストで使用され、その市場は半導体市場とともに更に成長すると予想しており、JEMグループは、顧客ニーズに応えるプローブカードの開発と供給を社会的使命として、更なる発展を目指します。



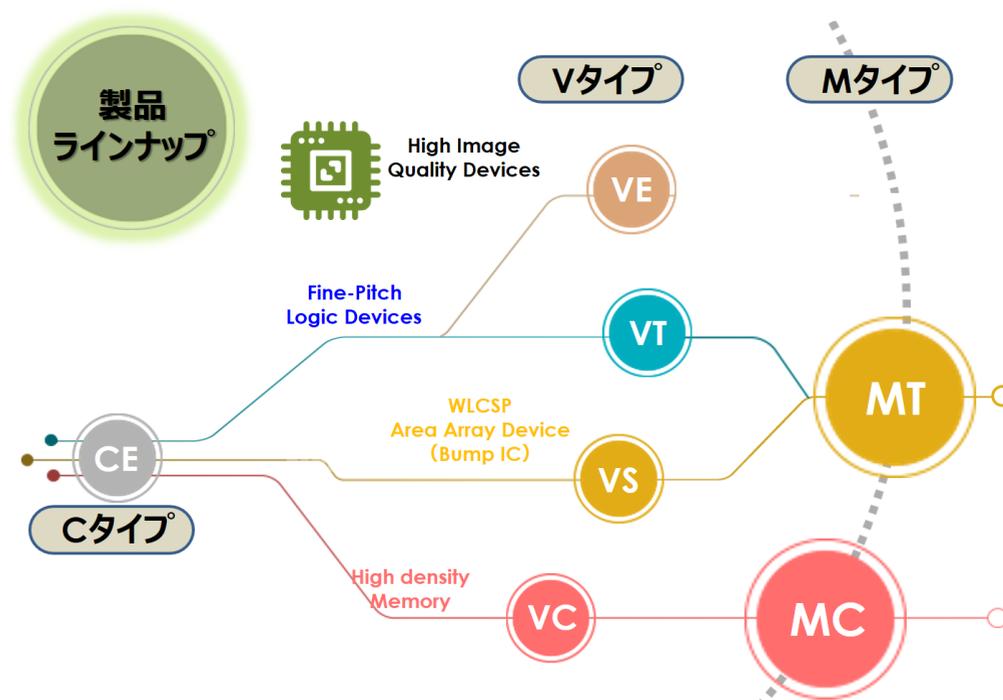
中期経営計画の策定にあたり



このような事業環境のなか、JEMグループは、拡大する市場環境を支え、市場以上の成長を目指す2024-2026年度の中期経営計画を策定いたしました。

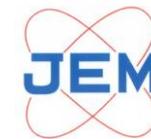
プローブカードには、半導体の進歩とともに微細化・高密度化、高耐電流特性、高周波特性等の技術進化が求められます。

JEMグループは、Cタイプに始まり、技術開発力と蓄積した知見をもとに、垂直型のVタイプ、MEMS技術を活用したMタイプを開発してまいりました。

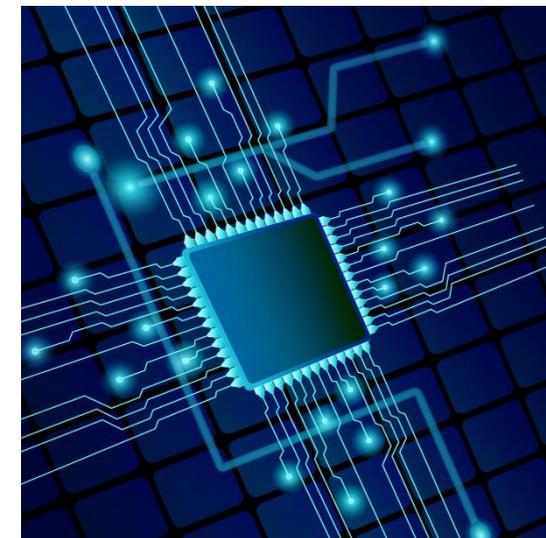


Your Probing Partner

中期経営計画の策定にあたり



生成AI等の拡大と高度化が見込まれる環境のもと、メモリー／ロジック半導体用のMEMSタイププローブカード市場において、JEMグループの主力製品であるMタイプの製品力と生産キャパシティをさらに強化することを本中期経営計画の原動力と位置付けております。



また、本中期経営計画の達成のために、設備投資・開発投資に加え、DX投資、人的投資を積極的に推進し、企業価値の更なる向上を図ってまいります。

Your Probing Partner

経営理念

日本電子材料株式会社並びにグループ各社は、人類に幸福をもたらす技術の開発と製品化により社会に貢献する

経営方針

【透明性のある企業活動】 善良な企業市民として、法令及び規則の遵守と、倫理観をもった行動により、透明性のある企業活動を行います。

【新たな価値の提供】 顧客満足と社会発展へ貢献するために、現状にとらわれることなく、先を見据えた技術開発と、絶え間ない品質向上及び納期短縮に取り組み、社会に新たな価値を提供します。

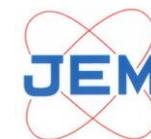
【グローバルな事業展開】 世界において親しまれ信頼される企業であるように、市場の変化とニーズに適応したグローバルな事業を展開します。

【利害関係者の尊重】 株主、顧客、取引先、従業員など、当社に関わる全ての方々とのより良い関係の構築とともに事業を発展するよう、利害関係者を尊重します。

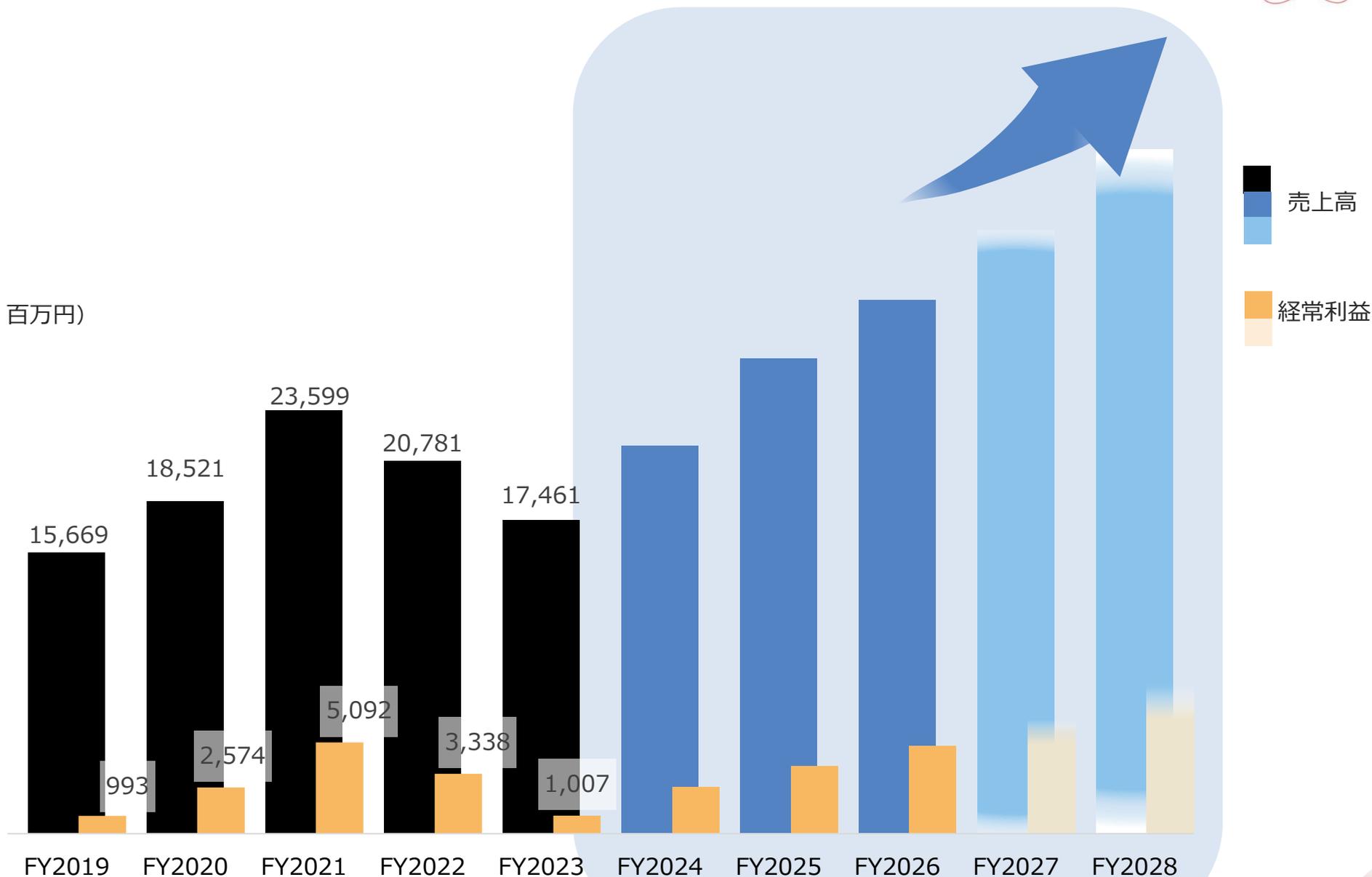
【地球環境の保護】 私たち一人ひとりの行動と心がけが大切であるとの認識のもと、環境に配慮した企業活動を行うことにより、地球環境を守ります。

Your Probing Partner

連結売上高／経常利益の推移と目標

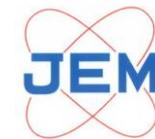


(単位：百万円)



Your Probing Partner

経営指標と2026年度目標



経営指標

常に連結経常利益率10%以上、株主資本利益率（ROE）10%以上

2026年度目標

売上高 30,000百万円
経常利益 5,000百万円



2024年10月
熊本事業所 新棟竣工予定

Your Probing Partner

単位:百万円

2024-2026年度投資計画	
設備投資(予想)	8,500
開発費(予想)	6,300

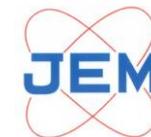
本中期経営計画の達成と、2027年度以降も市場以上の成長を目指すため、積極投資により製品力・生産キャパシティを強化します。

株主還元(配当方針)

当社は、株主の皆様に対する「安定的な利益還元」を重要な経営方針の一つとしています。

2024-2026年度中期経営計画においては、設備投資と研究開発を中心に「将来に向けた成長投資」とのバランスを取りながら、株主の皆様へ安定的・継続的かつ利益に見合った配当を実施する方針です。

成長に向けた取り組み



生産体制

熊本事業所の新棟の稼働により、生産キャパシティを強化し、成長を続ける半導体市場を支えてまいります。

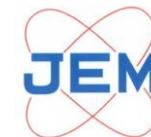
メモリー分野

生成AIをはじめ、市場におけるデータのトランザクションは増え続けており、全てのシステムに必要とされるメモリーデバイス向けに、当社グループが得意とするNAND向けに加え、DRAM向けMタイププローブカードの製品力の強化と、生産キャパシティの拡充により市場を支えてまいります。

ロジック分野

生成AIを支えるサーバー群、エッジAIを支えるエンドポイントアプリケーション、これらが利活用される自動運転技術やスマートフォンなどによるサービス、そしてこれらのシステムやサービスを支えるシステムLSI やセンシングデバイス向けに、Mタイププローブカードの製品力を強化し、拡大し続ける市場を支えてまいります。

成長に向けた取り組み



D X 投資

IT・デジタル技術の利活用を高める投資により、事業活動の合理化と省力化、並びに付加価値の創造を図り、競争力を高めてまいります。

人的投資

事業活動に付加価値を生み出す原動力である人的資本に対し、研修・教育体制の強化、会社制度の見直し等の投資を行い、当社の成長を促し競争力を高めてまいります。

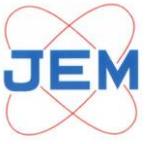
サステナビリティ

サステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティに関して、従来から継続する活動の更なる進展と、新たに取り組む活動を統括・発展し、社会に対する価値提供と、当社の競争力維持向上を両立しながら 長期にわたって持続的成長が可能な企業を目指します。

将来の見通しに関する記述について

本資料で記述されている予想値および計画値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績等は記述されている数値とは異なる結果になる可能性があることをご承知おきください。



JEM

Your Probing Partner

Your Probing Partner